

症例 48 歳女性

【主訴】全身の関節痛

10 年前より両手指・手関節を中心とした関節痛あり。3 週間前より全身の関節痛のため動けなく 3/23 緊急入院。精査の結果、強皮症と診断し、症状コントロール目的で PSL20mg/日、エトドラク(ハイペン®) 400mg2×、アセトアミノフェン 1500mg3×、ジクロフェナク Na(ボルタレンサポ) 50mg2× 投与開始。これらの処方では何とかトイレ歩行が出来る程度に症状が回復した。

漢方処方直前の西洋医学的所見

Visual analogue scale (VAS): 30 関節 6/10 VAS×関節数:180

CRP:1.92mg/dl ESR:47mm/1h RF:61 倍

IgG:1971mg/dl IgA:548mg/dl CH50:53.2

問診 冷えて増悪する関節痛 温めると痛みが和らぐ
冷たいものを触るとレイノー現象が出現
梅雨の時期も関節痛増悪
46 歳で閉経、月経痛があり、凝血塊が出ていた
気分が抑うつで、家から一步も外に出られない日も多い

視診 関節の腫脹は軽度、発赤はなし 関節の変形なし 筋肉の萎縮なし

脈診 両尺脈で沈やや弱 左関脈:やや弦

舌診 舌体:やや淡 舌苔:薄白 舌裏:細絡拡張

腹診 臍傍圧痛あり